

(別冊 1)

令和 5 年度 事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	4
(3) ボランティアセンター運営事業	5
(4) 社協会員加入促進事業	7
(5) まごころ銀行運営事業	7
(6) 遺贈等寄付金受入事業	8

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8

(2) 地区社協育成事業

①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8

(3) 地域福祉活動啓発事業

①広報啓発事業	9
②若草福祉まつり開催事業	10
③懐かしの名画劇場開催事業	10

[新規]④認知症理解啓発事業	10
------------------	----

[新規]⑤地域福祉活動推進計画策定事業	10
-----------------------	----

(4) 地域交流支援事業

①地域交流サロン等活動支援事業	11
②道後温泉浴衣活用事業	11
③福祉団体助成事業	11
④子育て応援プロジェクト事業	12
⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業	12

(5) 見守り支援事業	
①安心カードみまもり支援事業	12
②認知症高齢者SOSネットワーク事業	12
③まつやま支えあいフードバンク事業	12

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業	13
(2) 障がい者総合相談窓口事業	13
(3) 福祉サービス利用援助事業	14
(4) 福祉資金貸付事業	
①生活福祉資金貸付事業	15
②緊急小口資金等特例貸付事業	15
(5) 聴覚総合支援事業	
①聴覚総合相談事業	16
②手話通訳者設置事業	16
③意思疎通支援事業	17
④意思疎通支援者養成事業	17
⑤聴覚障がい者等生活訓練事業	18
[新規] (6) 生活困窮者緊急支援事業	18

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業	19
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業	21
(3) 北条社会福祉センター管理運営事業	21
(4) いきがい交流センターしみず管理運営事業	21
(5) 活動拠点整備事業	22

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業	
①愛の一声訪問事業	22
②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	22
③配食サービス事業	23
④福祉機器貸出事業	23
⑤かぎ預かり緊急時対応事業	23
(2) 介護予防促進事業	
①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業	23
②松山健康づくり体操教室事業	25
③北条文化の森いきいき講座事業	25

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・ 26
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ②自立支援型ケアマネジメント推進事業・・・・・・・・・・ 27
- ③介護サービス相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

4 権利擁護センター事業

- (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- (2) 中核機関整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- (3) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ②ボランティア養成講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

【はじめに】

人口減少・少子高齢化の進行や家族扶助機能の低下など、地域住民を取り巻く環境が大きく変化する中、誰もが住みなれた地域で支え合い、自分らしく、生きがいをもって暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け、包括的・重層的な各種施策の充実が求められています。

松山市社会福祉協議会では、松山市行政計画の「地域福祉計画」と一体となった「第4期地域福祉活動推進計画」（このまちのえがおプラン）が令和5年度で最終年度を迎えるにあたり、「みんなが つながる 支える まちづくり」を基本目標に、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動と連携、協働し、地域の社会資源を有効に活用しながら、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めるとともに次期計画となる第5期地域福祉活動推進計画を策定しました。

また、令和5年6月30日からの大雨災害により松山市内で被災された方に対して、災害ボランティア活動を実施するとともに、本年1月1日に発生した能登半島地震への支援のため、街頭募金や被災地への職員派遣の実施、災害時におけるボランティア活動に関する協定を締結するなど災害時の支援体制の強化に努め、本会の特性である公平性・中立性・民間性を最大限に活かしながら、社会福祉協議会の理解者拡大と使命である地域福祉の一層の充実に努めました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

（1）社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成をはじめ、職員からの新規事業提案を募集するなど、職員の企画立案能力や意識向上を図った。また、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進を図るとともに、関係する規程等の変更を行い、労働環境整備等に努めた。

ア. 理事会の開催（定数：理事13名・監事2名）

開催日	議 案	出席者数
令和5年4月1日	個人情報保護規程の一部改正について 個人情報保護規程（指定管理業務）の制定について 保有個人データの開示手続（指定管理業務）等に関する規程の制定について 副会長及び常務理事の選定について	書面決議 15名
令和5年6月8日	令和4年度事業報告について 令和4年度収支決算について 評議員選任候補者の推薦について 令和5年第2回評議員会の開催について	14名
令和5年6月29日	会長・副会長及び常務理事の選定について 名誉会長の委嘱について	11名
令和6年3月14日	令和5年度資金収支補正予算について 令和6年度事業計画について 令和6年度資金収支予算について 定款の一部変更について 経理規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 嘱託職員給与規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について 役員等賠償責任保険契約について 令和6年第1回評議員会の開催について	13名

イ. 評議員会の開催（定数：評議員 22 名）

開催日	議 案	出席者数
令和 5 年 6 月 29 日	令和 4 年度事業報告について 令和 4 年度収支決算について 役員の選任について	19 名
令和 6 年 3 月 28 日	令和 5 年度資金収支補正予算について 令和 6 年度事業計画について 令和 6 年度資金収支予算について 定款の一部変更について 役員の選任について	21 名

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催（定数：委員 6 名）

開催日	議 案	出席者数
令和 5 年 6 月 16 日	評議員の選任（4 名）について	5 名

エ. 実習生の受入等

実習種別	実習内容	学校数	人 数	合 計
社会福祉士	相談援助実習や臨地実習等	2 校	8 名	7 校：61 名 (目標 6 件：50 名)
臨地実習	ふれあい・いきいきサロン活動等の現場実習	2 校	43 名	
地域看護実習	新玉・八坂地区での現場実習	1 校	8 名	
インターシップ [※] (就業体験)	市社協の事業説明（松山市権利擁護センター）	2 校	2 名	

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

各種事業を効率的に実施するため、整備されたパソコン等の情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

設置状況	台 数	設置場所
社協 L A N	90 台	本所 外 6 ヶ所
訪問調査業務	42 台	本所 外 3 ヶ所

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により償還促進に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数(実人数)	償還金額
低所得者小口資金	9 件（130,000 円）	1 件（1 名）	2,000 円
母子家庭等小口資金	1 件（100,000 円）	1 件（1 名）	21,000 円
合 計	10 件（230,000 円）	2 件（2 名）	23,000 円

※令和 5 年度、低所得者小口資金償還完了者は 1 名、母子家庭等小口資金償還完了者は 1 名

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。また、各地区別の協力会員研修等の開催を積極的に支援し、協力会員への意識の醸成を図るとともに、地域関係団体等へチラシ配布を行うなど、新たな協力会員の確保に努めた。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
361 名	1,659 名	2,020 名

・活動状況

延べ派遣回数	延べ派遣時間数	延べ預託点数	概 要
5,600 回	9,273 時間	18,546 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	概 要
福祉学習事業助成	38 地区	2,877,000 円	80,000 円を限度に助成 (延べ実施回数 100 回)
活動計画策定助成	0 地区	0 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度に助成
地区社協 チャレンジ事業	3 地区	300,000 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限に助成 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

項 目	概 要
実施地区	市内地区社協 (40 地区)
調査期間	令和 5 年 4 月～ 6 月
内 容	会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

エ. 地区社協だよりの発行

項 目	概 要
実施地区	38 地区/ 40 地区中
発行回数	59 回
内 容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発 (年 1 ～ 4 回発行)

(2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため生活支援コーディネーターを配置し、地域のニーズや地域資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

また、住民の地域活動にスポットを当てた「地域のお宝発表会 in まつやま」を開催し、地域の取り組みを関係者間で共有するなど、新たな社会資源の創設や事業の拡充に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項 目	概 要	実施回数等
第1層協議体 (市全域)	研修会：地域のお宝発表会 in まつやま (第1層協議体として開催) 開催日：令和6年1月24日 会 場：市総合福祉センター 1階大会議室	1回(目標1回) 参加者数：227名
第2層A協議体 (9ブロック)	研修会：地区社会福祉協議会連絡会ブロック 会議及びブロック研修会 (第2層A協議体として開催)	18回 (目標9ブロック×2回) 参加者数：延べ375名
第2層B協議体 (40地区)	座談会：暮らし支え合う井戸端トーク	67回 40地区/ 40地区中 (目標40地区×1回) 参加者数：延べ578名

イ. 地域資源の把握

項 目	概 要
地域のニーズと地域資源の把握	地区社協等、地域内の関係機関・団体と連携、協働し、協議体を活用しながら地域課題や取り組み等を共有
情報の整理及び見える化 (SNSの活用)	「へこまんくんといく！」 生活支援コーディネーターによる地域活動の取材および SNS (Facebook・Instagram) を活用した啓発 (106件)

ウ. 地域支援体制の構築

項 目	概 要
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知に取り組んだ。

エ. 担い手の養成

項 目	概 要	参加者数
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	講座名：地域福祉リーダー養成講座 開催日：令和5年12月8日 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室	71名(目標80名)
	講座名：地域つながりサポーター養成講座 開催日：令和6年2月12日 会 場：市総合福祉センター4階ボランティア研修室	12名(目標10名)

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアのコーディネート機能の充実や、小中学校での福祉体験学習の実施、ボランティア団体・関係機関との連携・協働等、ボランティア活動の推進及び振興・拡大に努めた。また、令和5年6月30日からの大雨災害により被災された世帯に対して、災害ボランティア活動を実施するとともに、近年多発する地震等の発生から市民の防災意識が高まる中、災害ボランティア研修の開催や、松山中央ライオンズクラブとの災害時におけるボランティア活動に関する協定締結を行った。

ア. 運営

項 目	概 要
松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等	運営協力および事業助成 ボランティアグループ相互の連携、協働及び情報交換等の実施

イ. 登録数

項 目	概 要
団 体	456 団体（目標 460 団体）・57,605 名（新規：24 団体・618 名）
個 人	3,030 名（目標 3,000 名）（新規：80 名）
災害支援 活動登録	個 人 290 名
	協 定 1 校（大学）・11 社（企業等）
	新 規 松山中央ライオンズクラブ（令和5年6月8日協定締結）

ウ. 福祉体験学習

項 目	学校数等	延べ件数	延べ参加者数	概 要
小学校	42 校	73 件	6,422 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学习等 （目標 70 団体／130 件 10,000 名）
中学校	6 校	9 件	808 名	
その他	7 団体	12 件	1,225 名	
合 計	48 校・7 団体	94 件	8,455 名	

エ. 各関係機関のボランティア関係事業協力等

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関係機関・団体が実施する各種イベントの自粛・中止も見られたが、状況を踏まえた協力・支援を行い、ボランティア活動の場の提供や活性化に努めた。

主催団体	参加回数
まつやま NP0 サポートセンター運営協議会外 18 団体	24 回（目標 10 回）

オ. 情報提供・広報啓発

項 目	概 要
「おせったい通信」の発行	発行回数 12 回
	発行部数 各 3,500 部
	配布先 591 ヶ所 内訳：ボランティア（個人・グループ） 福祉関係団体、市関係機関、地区民協、 各大学、企業等
LINE 公式アカウント	登録者数 1,225 名（目標 1,000 名）
	送信回数 25 回

バリアフリー情報の提供	公開施設数	903 施設（目標 1,000 施設）
ホームページ	アクセス数	5,031 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	20 件

カ. 研修会・講座等の開催

講座名	概 要	参加者数
傾聴ボランティア養成講座	回 数：4 回（令和 5 年 6 月 1 日～22 日） 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 講 師：米子香苗 氏（株式会社 Para ti 取締役）	36 名 （目標 30 名）
災害ボランティア研修	第 1 回 開 催 日：令和 5 年 10 月 22 日 会 場：市総合福祉センター 4 階 調理実習室 ほか 内 容：非常食調理（アルファ米）、炊き出し試食、 ・令和 5 年 6 月 30 日からの大雨に対する災害ボランティアの対応について ・水害時における家屋の消毒方法について ・災害ボランティアセンター資機材の試運転等 講 師：松山保健所生活衛生課 住友大輔 氏 協 力：松山市赤十字奉仕団	52 名 （目標 50 名）
	第 2 回 開 催 日：令和 6 年 3 月 10 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 ほか 内 容：災害対応の流れと役割分担、「ひと・もの・かね・情報」の活用 [グループワーク]災害時に役立つ地域資源とは 講 師：遠藤聡 氏（ピースボート災害支援センター）	60 名 （目標 50 名）
はじめてのボランティア講座	開 催 日：令和 5 年 10 月 22 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 ほか 内 容：ボランティアについて、ガイドヘルプの基礎車いすの扱い方等 講 師：金村厚司 氏 （松山市ボランティア体験学習研究会きらり） 柴田明寿 氏（C I L 星空代表） 体験期間：令和 5 年 11 月 5 日～2 月 26 日 体験内容：愛媛 FC・若草ふれあいまつり・プルタブ整理活動等・福祉体験学習・ふれあいの祭典・子ども食堂	延べ 28 名 （目標 20 名）

キ. 防災とボランティアの日（災害ボランティアのパネル展示）

展示期間	概 要
令和 6 年 3 月 4 日～15 日	平成 30 年 7 月豪雨・令和 5 年 6 月 30 日からの大雨災害ボランティア活動写真の展示

ク. 令和 5 年 6 月 30 日からの大雨災害での災害ボランティア活動の実施

項 目	概 要
活動日数	6 日間（令和 5 年 7 月 6 日～21 日）
活動件数	8 件
活動内容	家財の搬出、土砂撤去、家屋内の清掃
活動者数	延 100 名

ケ. 能登半島地震災害支援活動

項 目	概 要
街頭募金	日 時：令和 6 年 1 月 12 日 17 時～19 時 場 所：いよてつ高島屋前 参加者：市社協職員・県社協職員・民生児童委員外 90 名 金 額：災害義援金額 332,986 円
	日 時：令和 6 年 2 月 8 日 17 時～19 時 場 所：いよてつ高島屋前 参加者：市社協職員・県社協職員・民生児童委員外 60 名 金 額：災害義援金額 110,431 円
職員派遣	期 間：令和 6 年 3 月 20 日～26 日 場 所：石川県志賀町社会福祉協議会 参加者：市社協職員 1 名 内 容：ニーズ調査支援活動

(4) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

社協だよりや各種事業等を通じて市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、継続加入並びに新規会員加入の拡大に努めた。

ア. 加入状況

会員種別	会員数	口 数	金 額	目 標	
個人会員 (個人)	1,814 名	2,103 口	2,103,000 円	(3,000 名)	(3,000,000 円)
特別会員 (団体)	180 団体	313 口	1,435,400 円	(500 団体)	(2,500,000 円)
賛助会員 (企業)	91 社	97 口	970,000 円	(150 社)	(1,500,000 円)
合 計	—	—	4,508,400 円	—	(7,000,000 円)

イ. 会員紹介状況

対 象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	37 名・79 団体 ・88 社
賛助会員 2 口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレットコーナーの活用	4 団体・35 社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄附を受け入れ高齢者や障がい者の福祉サービス事業に活用するとともに、物品については寄附者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行うなど、広く社会福祉の推進及び寄附文化の醸成に努めた。

ア. 受入状況等

種 別	目 標	受 入	件 数	受入・払出先
金 銭	4,300,000 円	2,955,432 円	35 件	市社協
物 品	—	りんご	2 件	児童福祉施設 4 ヶ所

	—	車いす	3 件	市社協
	—	住宅用火災警報器	1 件	地区民協
	—	軽自動車	1 件	市社協

※えひめ中央農業協同組合 ― 18 商品の売り上げの一部を寄付 (60,759 円)

※感謝状の贈呈 (6 件)

(6) 遺贈等寄付金受入事業

【自主事業】

銀行・信託銀行と締結した遺贈に関する協定書（令和4年3月締結）に基づき、松山市をはじめ各銀行等と連携を図り相続や遺贈等の相談、遺言書の管理等を支援するとともに新たな協定先との締結ならびにチラシの配布等を通じて、理解者の拡大と寄附文化の醸成に努めた。

項 目	概 要
協定書締結先	松山市・伊予銀行・愛媛銀行・三井住友信託銀行・愛媛信用金庫

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を支給することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握に努めた。

項 目	支給者数	概 要
見舞金	117 名	351,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を支給することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に努めた。

項 目	件 数	概 要	
住宅火災等見舞金	13 件	260,000 円	(20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	4 件	80,000 円	(20,000 円 / 1 名)
合 計	17 件	340,000 円	

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成し、地域福祉の推進に努めた。

助成先	助成額
市内全地区社協 (40 地区)	34,288,868 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を通じて、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化に努めた。

ア. 会議等

会議名	概 要	参加者数
地区社連 会長・事務 局長連絡会	第1回 開 催 日：令和5年4月18日 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室 内 容：研修会・事務連絡等 演 題：ふれあい・いきいきサロンにおける緩和型について 講 師：松山市介護保険課 職員	会長・ 事務局長 67名 (目標80名)
	第2回 開 催 日：令和5年7月19日 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室 内 容：研修会・事務連絡等 演 題：①松山市ふれあい収集の取り組みについて ②住民同士の支え合いをゲームで体験 講 師：①松山市清掃課 職員 ②松山市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	会長・ 事務局長 70名 (目標80名)
ブロック 会議	開催回数：9回 会 場：市総合福祉センター 1階 会議室他 内 容：①ブロック社協会長・副会長の選任について ②ブロック研修会の日程等について	39名 (目標40名)

イ. 研修会

研修会名	概 要	参加者数
地域福祉 リーダー 養成講座	開 催 日：令和5年12月8日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内 容：講義・グループワーク テ ー マ：なに載せる？どう載せる？福祉だより作成のヒントについて 講 師：高橋士朗 氏（株式会社愛媛新聞社 読者部副部長）	援護部長・ 啓発調査 部長 71名 (目標80名)

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①広報啓発事業

社協だよりの発行やホームページの運営、SNS（Facebook・Instagram・YouTube・LINE）を活用した広報活動等を通じて市社協事業等の紹介を行うなど、より一層の啓発に努めた。

項 目	概 要		
社協だよりの発行	年2回（約243,500部 / 1回）		
ラジオ放送	年4回（南海放送「みんなの松山」）		
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚（共同募金・日本赤十字社啓発用）		
ホームページの運営	ア. 松山市社会福祉協議会 (110,961件) (目標135,000件) イ. 松山市ボランティアセンター (40,319件) (目標15,000件) ウ. いきがい交流センターしみず (2,071件) (目標1,500件) エ. まつやまバリアフリーマップ (5,031件) (目標7,000件)		
Facebook・Instagram への掲載	市社協活動や地域行事等の紹介		
	SNS	登録者数	投稿件数
	Facebook	1,010名（新規57名）	379件（目標：100件）
	Instagram	754名（新規174名）	379件（目標：100件）

YouTubeの運営	市社協活動等の紹介 登録者数 187 名（新規登録者数 10 名） 投稿件数 3 件（目標 5 件）
LINE	市社協活動等の紹介 登録者数 381 名（新規登録者数 67 名） 投稿件数 6 件（目標 12 件）
LINEスタンプ	販売個数 38 個（目標 50 個）

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2023」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。（※総合福祉センター管理・運営事業（P19）に再掲）

③懐かしの名画劇場開催事業

日本の名作映画を上映することにより高齢者等の社会参加、生きがいづくりを促進するとともに優れた映画に触れることで、松山市における文化振興に努めた。

概 要	延べ参加者数
開 催 日：令和 5 年 12 月 2 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 上映作品：①おかしな奴 ②喜劇急行列車 ③吹けば飛ぶよな男だが ④あゝ軍歌	606 名 （目標 1,200 名）

④認知症理解啓発事業（新規事業）

9 月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、地域住民とともに、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という想いを共有し、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花による「オレンジロード」を啓発することで認知症理解の拡大に努めた。

概 要	延べ参加者数
日 程：令和 5 年 9 月 3 日～29 日 会 場：市総合福祉センター・市内各所 催 物：生花・写真・絵を飾付けたオレンジロード	参加者 147 名 （目標 400 名） 団体協力：29 団体 （目標 150 団体）

⑤地域福祉活動推進計画策定事業（新規事業）

地域福祉を推進するために行政と市社協が一体的に策定している「第 4 期松山市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画（このまちのえがおプラン）」の 5 年計画が令和 5 年度で終了することから、第 4 期計画の方向性を継承しながら、松山市と連携・協働し、令和 6 年度からの実効性のある第 5 期計画を策定した。

項 目	作成部数
第 5 期地域福祉活動推進計画 （5 ヶ年：令和 6 年度～令和 10 年度）	冊子 1,500 部 概要版 5,000 部

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン及び農園サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の増進に努めた。また、各家庭でプランター菜園を行い、参加者同士が交流を図る「オンラインサロン」等、柔軟なサロン活動を展開することで介護予防や孤立予防の推進に努めた。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	概 要
36 サロン (目標 43 サロン)	1,246,000 円	[交流] 1 サロン : 1 開催 3,000 円 (12 回を限度) [農園] 1 サロン : 年間 40,000 円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数		実施回数	延べ利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	27 サロン	(目標 40 サロン)	575 回	6,365 名	11.1 名
子育てサロン	6 サロン	(目標 11 サロン)	47 回	1,030 名	21.9 名
障がい者サロン	1 サロン		24 回	302 名	12.6 名
合 計	34 サロン		646 回	7,697 名	11.9 名
農園サロン	4 サロン (目標 4 サロン)				
オンラインサロン	5 サロン (目標 4 サロン)		4 回	28 名	7 名

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の製作を行い、障がい者等の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPR等に努めた。

項 目	概 要	販売数
松山トリコ製品	○おじやみクッション ○エコバッグ ○湯玉トートバック (Lサイズ・Sサイズ) ○紙の湯カードケース (シングル・ダブル) ○湯あがりコースター ○湯あがりカバー ○湯玉サコッシュ ※令和5年度新商品	0 個 (目標 10 個) 81 個 (目標なし) 11 個 (目標 25 個) 65 枚 (目標 50 枚) 8 枚 (目標 100 枚) 16 枚 (目標 100 枚) 84 個 (目標なし)
イベントへの出店	名 称 : ねんりんピック愛顔のえひめ 2023 「松山ねんりんパーク」 日 程 : 令和5年10月29日～30日 会 場 : 松山中央公園・愛媛県総合運動公園 主 催 : ねんりんピック愛顔のえひめ 2023 松山市実行委員会	

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動の支援に努めた。

助成団体数	助成額
11 団体 (松山市身体障害者協会等)	400,000 円

④子育て応援プロジェクト事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、参加者同士が交流を図り様々なイベントを体験してもらい子育て世帯等への支援に努めた。

概 要	参加者数
開催数：6回 会 場：清水小学校、河野公民館、市総合福祉センター 内 容：ワークショップ、キッズシネマ、子ども服おさがり交換会	80 名、175 世帯

⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業

子どもたちがともに遊び育ち合う場とするとともに、子育て中の親が気軽に集える場の提供に努めた。

概 要	参加者数
開催数：4回 会 場：古川ふれあいセンター、市総合福祉センター、清水公民館	176 名

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実に努めた。

登録者数	活用事例
13,369 名（新規：567 名） （目標 13,400 名）	5 件（累計 196 件：平成 23 年 7 月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症 0 件、中等症 3 件、重症 0 件、死亡 1 件、不搬送 1 件

②認知症高齢者 SOS ネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明となった高齢者の早期発見・保護に努めた。

搜索協力者登録数		登録数	実施件数
個人	1,721 名（新規：87 名/目標 100 名）	687 名 （新規：64 名 /目標 80 名）	搜索依頼 13 件 メール配信 10 件 （配信累計 123 件※） ※平成 25 年度より
企業・団体	347 団体（新規：34 団体/目標 40 団体）		

③まつやま支えあいフードバンク事業

団体・企業等に食料品の提供協力を求めるとともに、生活困窮者等に対し緊急的に食料を提供できるよう協力体制の整備を行った。また、併せて安定的な食料品の確保ができるまでの緊急措置として、状況に応じ食料品を提供することで、利用者の不安解消や生活基盤の自立に向けた支援に努めた。

項 目	概 要	支援件数
保管場所	市総合福祉センター等	延べ支援人数 285 名（目標 250 名） 延べ支援提供数 4,069 食 （目標 2,000 食）
支援団体・企業	①（有）プランネット ②（株）セキュリティエヒメ ③ミドリ安全松山株式会社 ④特別養護老人ホーム 和光苑 ⑤松山市包括支援センター三津浜 ⑥松山市役所 環境モデル都市推進課	

支援食料	お米・缶詰・レトルト食品・インスタント食品・水・カンパン等 ※未開封・賞味期限3箇月以上・常温保管可能・製造者表記・アレルギー表示のあるもの	
------	---	--

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援に努めた。

項 目		対応件数等	概 要
新規相談受付件数（総数）		754 件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む
継続相談件数		3,178 件	
延べ相談件数（総数）		3,932 件	
支援計画（プラン）作成件数（総数）		101 件	支援調整会議 100 回
就労支援対象者数 （プラン期間中の一般就労を目標にしている）		81 件	1つの支援計画（プラン）作成において、住居確保給付金、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む
法に基づく事業等利用件数	住居確保給付金	23 件	
	一時生活支援事業	1 件	
	就労準備支援事業	2 件	
	自立相談支援事業による就労支援	83 件	
その他	生活福祉資金等による貸付	18 件	
	生活保護受給者等就労自立促進事業	79 件	
一般就労者数		50 名	プラン未作成者 22 名を含む
増収者数		3 名	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援・助言を行い課題解決に努めた。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合 計
延べ件数	197 件	1,071 件	561 件	1,796 件	333 件	34 件	4,324 件	91 件	8,407 件

※その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

() 内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
延べ件数	2,829 件 (2,829)	58 件 (58)	1,001 件 (1,001)	1,393 件 (1,393)	68 件 (68)	164 件 (164)	1,586 件 (1,586)

	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合 計
延べ件数	404 件 (404)	1,012 件 (1,012)	11 件 (11)	39 件 (39)	200 件 (200)	8,765 件 (8,765)

ウ. 研修会の開催

項 目	概 要	参加者数
松山市障がい者虐待防止等研修会	開催回数：3回（令和5年7月21日 夜間） （令和5年7月28日 午後2回） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：令和時代の虐待防止について 講 師：鈴木正幸氏（鈴木社会福祉士事務所代表）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 参加者数 195 名 （目標 250 名）
松山市発達障がい者就労支援研修会	開 催 日：令和5年8月16日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講 演：①障害者差別解消法の改正で企業に求められること ②発達障がい者を雇用するにあたって 講 師：鈴木慶 氏（株）Kaizen 代表取締役）	一般企業の方 参加者数 36 名 （目標 100 名）
松山市障がい者差別解消法研修会	開催回数：2回（令和5年12月15日 午後・夜間） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：当事者及び当事者家族が抱く差別について 講 師：井谷重人 氏（C I L 星空 代表） 松岡達也 氏（愛媛県聴覚障害者協会事務局長） 河野和博 氏（愛媛県難病等患者団体連合会 事務局長） 大岩金司 氏（愛媛県精神障害者福祉会連合会 会長）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 参加者数 89 名 （目標 100 名）

（3）福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	9 件 (新規 6 件) (終了 1 件)	30 件 (新規 2 件) (終了 0 件)	48 件 (新規 7 件) (終了 6 件)	3 件 (新規 0 件) (終了 1 件)	90 件 (目標 90 件) (新規 15 件) (終了 8 件)

※（ ）内は、令和5年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
10 名	993 回	946 時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援に努めた。

①生活福祉資金貸付事業

申請内容	相談件数	申請件数
ア. 総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	88 件	0 件 0 件 0 件
イ. 福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	923 件	11 件 16 件
ウ. 教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	164 件	13 件
エ. 不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	51 件	0 件 0 件
オ. その他(償還猶予申請等)	0 件	4 件
カ. 臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件
合 計	1,226 件	44 件

②緊急小口資金等特例貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に、安定した生活が送れるよう経済的自立の支援を目的とし、生活困窮者自立支援事業と連携した効果的な相談支援により、相談と貸付を組合せて問題解決、生計回復や自立を目指した生活意欲の助長促進に努めた。

申請内容	相談件数
ア. 償還方法等相談	207 件
イ. 償還免除相談	247 件
ウ. 償還猶予相談	322 件
合 計	776 件

*申請受付：令和4年9月30日終了

(5) 聴覚総合支援事業

【市受託事業】

①聴覚総合相談事業

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を図りながら総合的支援に努めた。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	その他	合計
延べ件数	2,485 件	4,751 件	4,608 件	408 件	12,252 件

イ. 支援内容（連絡調整含む）（ ）内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延べ件数	1,777 件 (1,777)	7 件 (7)	522 件 (522)	41 件 (41)	15 件 (15)	70 件 (70)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延べ件数	58 件 (58)	1,139 件 (1,139)	42 件 (42)	198 件 (198)	0 件 (0)	1,303 件 (1,303)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延べ件数	4,316 件 (4,316)	409 件 (409)	2,083 件 (2,083)	272 件 (272)	12,252 件 (12,252)

ウ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

概 要	件 数
愛媛大学、松山大学 ほか	219 件

②手話通訳者設置事業

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意思疎通の支援に努めた。

内 容	身体障害者手帳等	補装具等	日常生活用具等	障害福祉サービス	介護保険	生活保護	医療保険	年金手当	就労	教育	住居	税	窓口手続証明等	窓口手続証明以外等	相談	その他	合計
件数	12 件	16 件	42 件	40 件	37 件	2 件	113 件	25 件	33 件	3 件	43 件	42 件	19 件	246 件	48 件	276 件	997 件

③意思疎通支援事業

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者の派遣に努めた。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

内 容	個人に対する派遣										大会等派遣	合 計
	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件 数	2,376 件	2,044 件	132 件	18 件	35 件	14 件	19 件	9 件	328 件	4,975 件	80 件	5,055 件

イ. 研修会の開催

項 目	概 要	参加者数
登録手話通訳者・ 要約筆記者研修会	開催回数：12回（令和5年4月24日～令和6年3月18日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室ほか 内 容：意思疎通支援制度・技術実習等（Zoom 対応有り）	250 名

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施し、頸肩腕障害を予防に努めた。

項 目	概 要
受診者数	28 名（手話通訳者 16 名、要約筆記者 5 名、手話・要約筆記者 7 名）

④意思疎通支援者養成事業

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導に努めた。

講座名		開催回数	修了者数
手 話 通 訳 者 養 成 講 座	基礎フォローアップ講座	午前 40 回 ・ 夜間 40 回	午前 8 名・夜間 14 名
	手話通訳Ⅰ	午前 39 回 ・ 夜間 39 回	午前 5 名・夜間 6 名
	手話通訳Ⅱ	午前 36 回 ・ 夜間 36 回	午前 6 名・夜間 8 名
	手話通訳Ⅲ	午前 16 回 ・ 夜間 16 回	午前 6 名・夜間 4 名
要約筆記者養成講座(手書き・PC)		45 回	4 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面・オンラインを併用して実施

イ. 松山市全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保に努めた。

概 要	受験者数
実 施 日：令和6年2月18日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室	3 名（内合格者0名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域において生活能力を高めるなど社会参加の促進に努めた。

項 目	概 要	延べ利用者数
生活支援訪問	訪問回数：143 件 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	536 名 (目標 400 名)
中途失聴者・難聴者の手話講座	開催回数：昼の部 40 回・夜の部 39 回 開催期間：令和 5 年 4 月 18 日～令和 6 年 3 月 12 日 内 容：手話学習と仲間づくり、暮らしに関する手話、冠婚葬祭に関する手話 等	365 名 (目標 340 名)
くらしセミナー	開催回数：10 回(令和 5 年 5 月 15 日～令和 6 年 3 月 18 日) 内 容：消費生活トラブル・法律相談・だまされないために等	151 名 (目標 100 名)

(6) 生活困窮者緊急支援事業（新規事業）

赤い羽根ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン「生活困窮者への緊急支援活動」助成金申請を行い、本会が実施する「まつやま支えあいフードバンク事業」と合わせて、生活困窮者へ食糧品を提供することで、利用者の生活基盤の自立に向けた支援に努めた。

項 目	概 要
支援食料	(保存食) アルファ米・ひだまりパン・カレーセット・一汁ご膳・肉じゃが・やきとり・ツナカル等

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営に努めた。

ア. 利用状況

延べ利用団体数	延べ利用人数	内容等
7,670 団体 (目標 8,800 団体)	137,213 名 (目標 220,000 名)	施設見学 2 団体 25 名 有料利用 15 件 477 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 5 年 5 月 8 日まで一部利用制限を実施

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

項 目	概 要	参加者数
地域福祉活動に関する講演会	開催日：令和 6 年 3 月 10 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 演 題：災害に強い地域づくりについて 講 師：遠藤聡 氏（ピースボート災害支援センター）	200 名 (目標 300 名)
認知症に関する講演会	開催日：令和 5 年 9 月 16 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 内 容：認知症サポーター養成講座	120 名 (目標 250 名)
福祉センター映画鑑賞推進事業 (わかくさ映画上映会)	開催日：令和 5 年 9 月 23 日（2 回上映） 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 内 容：ぼけますから、よろしくお願いします。	第 1 部 243 名 第 2 部 210 名 (目標 600 名)

ウ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2023」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	令和 5 年 11 月 11 日	令和 5 年 11 月 12 日
内 容	○ボランティア団体発表会 ○余剰品販売コーナー ○障がい相談 ○障がい者デイ作品展 ○お茶席 ○人権擁護相談コーナー ○車いす体験 ○手話体験 等	○映画「ミニオンズ フィーバー」上映 ○マッサージコーナー ○介助犬・聴導犬コーナー ○要約筆記体験、携帯ホワイトボード作り ○点字体験 ○お楽しみ抽選会 等
	○食品販売、お食事コーナー ○折り紙教室 ○子ども服おさがり交換会 ○朗読体験 ○スタンプラリー 等	○障がい者団体等バザー ○ふれあい・いきいきサロンコーナー ○おもちゃ図書館 ○各種団体による喫茶、余剰品販売コーナー
来館者数	延 2,500 名（目標 4,000 名）	
参加団体	55 団体（ボランティア・福祉団体等）	

エ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進に努めた。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合 計
保 管 数	1,191 冊	103 冊	3 本	159 本	102 枚	1,558 点
貸出件数	13 件	0 件	0 件	3 件	0 件	16 件

オ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大に努めた。

概 要		実施期間等
ロビー展等	ア. 発達障がい関係団体活動紹介パネル展示 松下侑生さんによる「侑生の世界」作品展	令和5年4月2日～30日
	イ. いきがい交流センターしみず（活動紹介等） ロビー展	令和5年5月1日～5月31日
	ウ. 「民生委員・児童委員の日」の活動強化 週間に合わせたロビー展	令和5年5月11日～6月16日
	エ. オレンジロード展示 （オレンジガーデニングプロジェクト）	令和5年9月4日～29日
	オ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	令和5年12月4日～8日
	カ. 障がい者理解啓発パネル展	令和5年12月11日～22日
	キ. 防災ポスター展	令和6年1月10日～31日
	ク. 災害ボランティア・防災に関するパネル展示	令和6年3月4日～15日
募金箱の設置	ア. 2023年トルコ・シリア地震救援金	令和5年4月1日～5月31日
	イ. ウクライナ人道危機救援金	令和5年4月1日～令和6年3月31日
	ウ. 令和5年5月能登地方地震災害義援金	令和5年5月15日～9月22日
	エ. 令和5年台風第2号大雨災害義援金	令和5年6月25日～9月7日
	オ. 令和5年6月30日からの大雨災害義援金 （山口）	令和5年7月18日～10月30日
	カ. 令和5年7月7日からの大雨災害義援金 （福岡）	令和5年7月18日～10月19日
	キ. 令和5年7月7日からの大雨災害義援金 （佐賀）	令和5年7月18日～9月15日
	ク. 令和5年7月7日からの大雨災害義援金 （大分・島根・富山）	令和5年7月25日～8月24日
	ケ. 令和5年7月7日からの大雨災害義援金 （秋田）	令和5年7月25日～9月15日
	コ. 令和5年7月7日からの大雨災害義援金 （石川）	令和5年8月14日～9月22日
	サ. 2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	令和5年8月22日～9月15日
	シ. 令和5年台風第6号災害義援金（沖縄）	令和5年9月15日～10月13日
	ス. 2023年モロッコ地震救援金	令和5年9月15日～10月13日
	セ. 2023年リビア洪水救援金	令和5年9月15日～10月13日
	ソ. 令和5年台風第13号災害義援金 （茨城・福島・千葉）	令和5年9月15日～10月30日

募金箱の設置	タ. 赤い羽根共同募金	令和5年10月1日～令和6年3月31日
	チ. 2023年アフガニスタン地震救援金	令和5年10月13日～11月27日
	ツ. イスラエル・ガザ人道危機救援金①	令和5年10月19日～11月27日
	テ. 令和5年度NHK海外たすけあい	令和5年12月1日～25日
	ト. イスラエル・ガザ人道危機救援金②	令和5年12月25日～令和6年3月31日
	ナ. 令和6年能登半島地震災害義援金	令和6年1月5日～3月31日
センターのライトアップ	ア. 世界自閉症啓発デー及び発達障害啓発週間（ブルー）	令和5年4月2日～8日
	イ. 世界小児がん啓発キャンペーン（イエロー）	令和5年9月8日～9日
	ウ. 世界アルツハイマーデー（オレンジ）	令和5年9月21日
	エ. 手話言語の国際デー（ブルー）	令和5年9月23日
	オ. 赤い羽根共同募金（レッド）	令和5年10月1日
	カ. 世界糖尿病デー（ブルー）	令和5年11月14日
	キ. 頭痛の日（グリーン）	令和6年2月22日
その他	ご意見箱の常設（1階・4階・5階）	令和5年4月1日～ （平成19年8月1日設置）

（2）地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの適正な維持・管理に努めた。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
36台	57,882名	2,043団体	1,500社

（3）北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営に努めた。

延べ利用団体数	延べ利用者数
1,871件（目標2,500団体）	11,429名（目標16,000名）

（4）いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び多世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に努めた。

ア. 地域交流事業

項目	対象	開催回数	延べ参加者数
友遊しみず （月・木曜日 10：00～15：00）	介護保険対象外の概ね 65歳以上の方	89回 （目標90回）	874名 （目標1,550名）

交流授業	清水小学校児童等	46 回 (目標 50 回)	3,728 名
地域交流イベント	清水小学校児童・保護者等	1 回	97 名 (目標 80 名)
しみずサポートボランティアの活動	高校生・大学生等	118 回	198 名

イ. 講座等の開催

項 目	概 要	延べ参加者数
シニアライフ講座	開催回数：9 回（令和 5 年 5 月 24 日～7 月 19 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 2 階 交流室 1 内 容：介護保険制度、財産管理と遺言、認知症、介護者のストレスケア、成年後見制度、終活等 9 テーマ	162 名 (目標 200 名)
終活のススメ講座	開催回数：4 回（令和 6 年 1 月 24 日～2 月 14 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 2 階 交流室 1 内 容：人生の振り返り、エンディングノートの活用法 終活（遺言・任意後見）、終活のリアル等	56 名 (目標 60 名)

ウ. 視察対応

	概 要	人数（団体数）
説明内容	事業概要、地区社協・小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流等について	81 名（8 団体）

エ. 実習生の受入

実習種別	実習内容	学校数	人 数
教育実習	社会教育ボランティア実習・社会教育実践活動	3 校	52 名
地域連携実習	清水小交流授業・福祉体験等のボランティア活動	1 校	6 名

（5）活動拠点整備事業

【自主事業】

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

拠 点	概 要
えひめ中央農業協同組合桑原支所 1 階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

（1）高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週 2 回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消に努めた。

実利用者数	延べ訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,662 名	256,839 回	475 名	669 件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年 4 回の出張理容サービス（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）を実施し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減に努めた。

利用券交付者数	延べ利用者数	新規申請者数
7 名	19 名	1 名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、1日1食（昼又は夕）の食事サービスを提供し、利用者の心身の負担軽減や安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者10社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上に努めたが、民間事業者の配食サービスが普及し、安否確認も積極的に行われていることにより、令和5年度で事業を廃止した。

実利用者数	延べ配食数	新規申請者数
567 名	171,421 食	154 名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている64歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者4社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上に努めた。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
5 件	4 件	0 件

※新規申請1件、返却7件

⑤かぎ預かり緊急時対応事業（かぎ預かりSOS）

【自主事業】

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者で、市社協個人会員（1口1,000円/年）に加入し、本事業の利用希望者を対象に、玄関等の鍵を預かり、生命に関わる等の緊急事態時に鍵を使って家屋内に立ち入り安否確認等を行えるよう体制づくりに努めた。

登録者数	安否確認件数
24 件（内新規登録者数13件）	0 件

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援に努めた。また、「出前サロン」の積極的な実施や新しく始まった「緩和型サロン」の啓発に努め、地区社協と連携しながら新規サロンの立ち上げに努めた。

ア. 規模別サロン数

規 模 回 数	緩和型	小規模	中規模	大規模	基幹型	合計
月1回	25					24
月2回	16	44	46	2	0	109
月3回	1	8	10	0	0	19
週1回	13	17	18	0	0	48
週2回	1	2	0	0	1	4
週3回以上	0	0	0	0	1	1
合 計	56	71	74	2	2	205

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65 歳以上）	3,761 名
延べサロン開催回数	4,695 回
延べサロン参加者数	70,424 名
サロン活動登録者数（65 歳以上）	(67,040 名)
サロン参加者数（64 歳以下）	(3,384 名)

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	実施サロン数	延べ実施者数
①開眼片足立ち（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定） *①②どちらかの測定のみも可能	通常サロン 145 緩和型サロン 48	2,263 名 内訳：①②両方：1,394 名 ①のみ：551 名 ②のみ：318 名

エ. サロン交流会の開催

概 要	参加者等
開催回数：3 回（令和 5 年 4 月 20 日～12 月 12 日） 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 市北条社会福祉センター 2 階 大会議室 文化の森公園 内 容：実技指導、レクリエーション紹介、ウォーキング、 茶話会、情報交換会等	延べ 270 名

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援に努めた。

項 目	回数（予定）	延べ利用者数	平均利用者数	実施内容
釣 島	5 回（8 回）	39 名	7.8 名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	8 回（8 回）	28 名	3.5 名	

カ. まちなかサロン実施状況

項 目	開催回数	延べサロン参加者数
通常まちなかサロン	43 回	593 名
筋力向上プログラム	12 回	167 名

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 159 サロン
調査期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 9 月 30 日

ク. 広報啓発等

項 目	概 要
ふれあい・いきいきサロン通信の発行	3 回（約 750 部 サロン関係者等への送付）

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	100 種類 490 個	434 件

DVD等	35 タイトル 97 枚	11 件
プロジェクター	2 台	58 件

コ. デジタル化推進業務

項 目	サロン数等	参加者数等
タブレット教室	41 サロン	延べ参加者 465 名
オンラインサロン (内 1 回ハイブリッド開催)	3 回	オンライン 12 組 会場参加 32 名
複数サロン間オンライン交流イベント	6 回	延べ 155 名
サロン LINE 公式アカウント	配信 25 回	登録者 241 名
介護予防情報 SNS 配信	ア. おうちでエンジョイへこまん生活 12 回 イ. サロンからこんにちは 12 回 ウ. てくてく日記 124 回 エ. その他 (交流会・研修等) 19 回	

サ. 出前サロン

概 要	参加者数
開催回数：11 回 (令和 5 年 4 月 13 日～令和 6 年 3 月 8 日) 開催地区：浅海、桑原、河野、立岩、久谷、北条 対 象 者：地区社協関係者、サロン立上げ希望者 内 容：介護予防メニュー体験、レクリエーション、サロン事業説明、 「通いの場」の啓発	216 名

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に体操教室を実施し、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続に努めた。

概 要	延べ参加者
開催回数：80 回 (令和 5 年 5 月～令和 6 年 3 月) 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室	3,557 名 (目標 4,400 名)

③北条文化の森いきいき講座事業

【自主事業】

北条圏域の地域福祉拠点である「北条社会福祉センター」を活用し、参加者の生きがいや健康づくりを図るとともに、北条文化の森健康づくり体操教室では高齢者の身体機能の維持向上や、介護予防及び自立性を高めた日常生活の維持や社会参加の促進に努めた。

事業名	概 要	延べ参加者数
北条文化の森 いきいき講座事業	開催回数：3 回 (令和 5 年 11 月 17 日～12 月 8 日) 会 場：市北条社会福祉センター 2 階大会議室 内 容：エンディングノートの作り方・腸内フローラ と乳糖果糖オリゴ糖について・ツボ押し講座	45 名 (目標 90 名)
北条文化の森 健康づくり体操 教室事業	開催回数：10 回 (令和 5 年 5 月 10 日～令和 6 年 3 月 13 日) 会 場：市北条社会福祉センター 2 階大会議室 内 容：マットやボール等を使った体操、健康指導、 血圧測定、体力測定等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部変更	1,174 名 (目標 1,700 名)

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に努めた。

調査内容	申請件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	30,188 件	27,848 件	27,979 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業【市受託事業】	126 件	123 件	123 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業【他市町村等受託事業】	828 件	753 件	753 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,869 件	1,715 件	1,715 件

※要介護申請数（コロナによる期間延長・取り下げ含む）

※申請・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となるため

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	訪問回数
小規模多機能型居宅介護	1 回
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	13 回
地域密着型通所介護	24 回
通所介護	30 回
認知症対応型共同生活介護	13 回
認知症対応型通所介護	7 回
介護老人福祉施設	7 回
短期入所生活介護	1 回
介護老人保健施設	5 回
通所リハビリテーション	10 回
訪問入浴介護	4 回
看護小規模多機能型居宅介護	2 回
合 計	117 回

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	94 回

ウ. 集団研修等の開催

項 目	概 要	参加者数
集団研修	研修名：生活支援型訪問サービス従事者養成研修・介護に関する入門的研修（基礎編） 日 時：令和5年8月21日・28日 場 所：市総合福祉センター 5階 小会議室 講 師：矢川ひとみ 氏（松山市基幹型地域包括支援センター統括指導官） 三好魅 氏（松山市介護保険課 保健師）	5 名
	研修名：施設長・管理者・リーダー研修会 日 時：令和5年12月5日 場 所：市総合福祉センター 1階 大会議室 演 題：ノーリフティングケア導入への取り組み ～課題と向き合い実践に繋げるために～ 講 師：米子香苗 氏（なちゅは愛媛）他5名	22 名
出前講座	講座名：介護職員スキルアップ研修Ⅰ 日 時：令和5年12月15日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：認知症ケア 講 師：岩井伊千恵氏（松山赤十字病院認知症看護認定看護師）	46 名
	講座名：介護職員スキルアップ研修Ⅱ 日 時：令和5年12月20日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：虐待を防ぐ職場づくり 講 師：中田康晴 氏 （株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役）	46 名
	講座名：介護職員スキルアップ研修Ⅲ 日 時：令和6年1月12日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：健口から健生へ～オーラルフレイル予防～ 講 師：平岡恭子 氏（歯科衛生士）	23 名
ケアプラン研修	開催数：2回（令和6年1月17日・2月16日） 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：令和6年度改正と適正な居宅ケアマネジメントを考える ～あなたのケアマネジメントは適切ですか？～ 講 師：阿部充宏 氏（合同会社介護の未来 代表）	第1回 84 名 第2回 52 名

②自立支援型ケアマネジメント推進事業

【市受託事業】

高齢者の住み慣れた地域での自立生活への支援に資することを目的として、事例提供をもとに地域包括支援センター単位で検討会議を毎月開催し、自立支援・介護予防の観点から多職種の専門的な視点に基づく助言やモニタリング会議を通じて、対象者の生活上の課題解決・改善等を図るとともに生活の質の向上に努めた。

項 目	概 要
開催回数	12 回

検討委員	15 名 (薬剤師、看護職（訪問看護）、リハビリの専門職、栄養士、歯科衛生士 各 3 名) 1 回の会議につき 5 名が参加（各専門職から 1 名ずつ）
対象事例	24 事例 (担当地域包括支援センター圏域内に居住する新規（6 ヶ月以内）に要支援又は要介護 1・2 の認定を受けた者。要支援、要介護から各月 1 事例ずつ）
内 容 等	・自立支援に向けた市民及び関係者の意識改革 ・介護保険制度の理念「尊厳の維持」「自立支援」の考え方を全体で共有 ・多職種と「ネットワークの構築」が出来る機会の創出 ・専門職及びサービス提供事業所等、参加者のスキルアップ並びにスキルの平準化 ・検討会議を通して地域に不足している社会資源を把握

③介護サービス相談員派遣事業

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場へ介護サービス相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、登録相談員に対し、現任研修への参加や連絡会の実施により、相談活動に必要な知識・技術のスキルアップや意欲の向上に努めた。

ア. 実施状況

登録相談員	施設訪問回数	延べ派遣相談員数	相談件数
29 名	8 施設（58 回）	115 名	219 件

イ. 介護サービス相談員連絡会の開催

概 要	参加者
開催回数：2 回（令和 5 年 7 月 7 日、令和 6 年 2 月 29 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室ほか 内 容：事業の実施状況について、相談活動に関する意見交換・交流、 記録・報告書の書き方、松山市の介護保険事業について	延べ 15 名

4 権利擁護センター事業

（1）権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各種研修会の開催やパンフレットの作成・配布することで、成年後見制度の周知啓発に努めた。また、地域住民が後見等業務の新たな担い手として活動できるよう育成及び支援に努めた。

ア. 主な活動

項 目	概 要	件数等
相談支援（一般相談）	相談受付件数	116 件
成年後見制度普及啓発	各種イベント参加件数・講師派遣等件数	32 件
	パンフレット配布部数	2,553 部
成年後見制度担い手養成等	市民後見制度普及啓発件数	2 件

イ. 研修会の開催

講座名	概 要	参加者数
権利擁護市民セミナー	開 催 日：令和 5 年 9 月 29 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 開催方法：ハイブリッド開催（Zoom 配信） 内 容：「知っててよかった！任意後見制度」 講 師：公証人 戸塚一夫 氏（松山公証人合同役場） ※市民後見人養成フォローアップ研修会と同日開催	会場 47 名 オンライン 23 名 合計 70 名
市民後見人養成フォローアップ研修会	開 催 日：令和 5 年 9 月 29 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 開催方法：ハイブリッド開催（Zoom 配信） 内 容：「体験から語れる後見活動の実際」 講 師：社会福祉士 柿原寅雄 氏 （権利擁護センターぱあとな愛媛） ※権利擁護市民セミナーと同日開催	会場 47 名 オンライン 22 名 合計 69 名 （内 8 名が 市民後見人養成 講座修了者）
成年後見制度実務者研修	開 催 日：令和 5 年 11 月 29 日 開催方法：オンライン開催（Zoom 配信） 内 容：「事例で学ぶ！成年後見制度利用支援」 講 師：社会福祉士 掛水直樹 氏 （松山市地域包括支援センター北条） センター長 藤本 篤 氏 （松山市障がい者南部地域相談支援センター）	会場 34 名 オンライン 71 名 合計 105 名

（2）中核機関整備事業

【市受託事業】

判断能力が十分ではない人が成年後見制度を適切に利用できるように、「成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 29 号）に基づく中核機関として、各関係機関及び団体と連携し、成年後見制度の利用促進に努めた。

ア. 相談支援（専門相談）

概 要	件数等
延相談支援件数	187 件
相談受付件数	127 件
成年後見制度利用申立支援件数	15 件
後見等受任団体紹介件数	1 件
後見人等支援件数	0 件
専門職相談件数（成年後見制度専門職相談） 【弁護士相談：19 件、司法書士相談：20 件、行政書士相談：5 件】	44 件

イ. 地域ネットワーク活用

項 目	概 要
成年後見制度利用支援委員会	開催回数：12 回（令和 5 年 4 月 20 日～令和 6 年 3 月 21 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 交流室 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士 内 容：市長申立対象案件における成年後見人等候補者の選定 について等

ウ. 地域ネットワーク構築に向けた取組み

項 目	概 要
成年後見制度 利用促進に関する 意見交換会	開催回数：4回（令和5年7月20日～令和6年3月28日） 会 場：市総合福祉センター 5階 交流室 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士、税理士、行政書士 家庭裁判所 内 容：模擬受任者調整会議について等

（3）法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 受任件数

	後 見	保 佐	補 助	合 計
件 数	16 件 (新規4件) (終了3件)	3 件 (新規2件) (終了0件)	0 件 (新規0件) (終了0件)	19 件 (新規6件) (終了3件)

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

法人後見支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
3 名	80 回	235 時間

5 広報啓発事業

（1）福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

福祉関係者を対象に福祉大会を開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進に努めた。

大会名	概 要	参加者数
令和5年度 松山市福祉大会	開 催 日：令和5年9月1日 会 場：松山市民会館 大ホール 内 容：○表 彰 175 名・18 団体 ○群読発表 発表校：済美平成中等教育学校 放送部 みならミュージカルフレンズ & みんなだーいすき	1,207 名

②ボランティア養成講座事業

【市受託事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進に努めた。

講座名	開催回数	修了者数
点 訳	初級 20 回・中級 20 回	初級 10 名・中級 9 名
手 話（午前）	入門 19 回・基礎 23 回	入門 25 名・基礎 17 名
手 話（夜間）	入門 19 回・基礎 23 回	入門 32 名・基礎 24 名
朗 読	初級 12 回・中級 13 回	初級 18 名・中級 16 名

